

伝産×○○のシナジー（CASE 2：京都染織産業XR推進コンソーシアム）

●ポイント

日本有数の3産地がタッグを組んで、仮想空間にフォトリアルな京都と展示場をCGで構築 着物文化のPRを幅広い層に向けて実施
コロナ禍で対面販売が不可となり、非接触かつコロナ後にも繋がる取組



●産地の現状

産地の出荷金額は、平成2年をピークに平成30年には1割を切る厳しい状況。近年は更にコロナ禍の影響により減少。事業者の減少・高齢化も進んでいる。

●取組内容

R2年度京都府のコロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金を活用して、西陣織工業組合、丹後織物工業組合、京友禅協同組合連合会の3団体で京都染織産業XR推進コンソーシアムを構成した。

VR空間に、京都の町並みを再現し、仮想空間で、「工場見学」、「着物展示場」、「着物ショー」の体験を可能とした。オンライン上でのPR活動や販路開拓は今後ますます重要となってくることが予想され、伝産業界に一石を投じる活動となった。

当該3地域は伝統産業及び繊維産業においてそれぞれ密接に関係する地域であり、上記以外にも、海外市場開拓を目指す「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」を立ち上げるなど、幅広く事業を展開している。



●西陣織工業組合からひとこと！

着物文化を最先端技術を活用により発信することで、各メディアや海外からの反響が大きく、若い世代における顧客層への訴求効果もありました。また、副次的な成果として、各組合の若手に新たな取組への刺激を与えられたことが大きいと認識しています。

今までの組合事業とは異なったアプローチであることから、今後組合活動にも積極的に関わってくれと期待しています。

組合情報

西陣織工業組合 (<https://nishijin.or.jp/whats-nishijin/>)

日本を代表する絹織物として世界に名高い「西陣織」の更なる拡大発展のため、さまざまなPR活動を展開している。組合の青年会の協力で来春運行予定の市営地下鉄新型車両内装に西陣織が使用されている。

京友禅組合連合会 (<http://www.kyosenren.or.jp/outline/index.html>)

日本三大友禅の中でも最も歴史が古く、豪華絢爛な染めの技法として世界に名を馳せている「伝統的工芸品 京友禅・京小紋」産地として各種事業を実施している。

丹後織物工業組合 (<https://tanko.or.jp/association/>)

絹織物産地として長い歴史と伝統を有し、「織と染の総合産地」として、組合直営の加工場では、市場のニーズに対応した加工技術で服飾文化に貢献している。

